

4台並列で安定出力確保

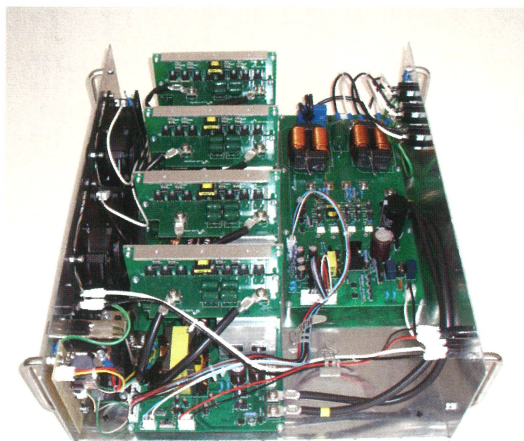
サン電子工業（秩父市、深谷市）

電子部品・デバイスの実装…ソフトスイッチング方式による省熱AC/DC変換装置の開発

消費電力の削減や対策部品の軽量化を図るため、電力変換の部分（DC/DCコンバータ）に、電

流がゼロの時にスイッチをオンオフさせるソフトスイッチング方式を採用。これを用いて

を設計した。小型化とコスト減を図り、通信基地局などへのシェア拡大を狙う。



置（UPS）

DC/DCコンバータを4台並列し小型化したUPS

UPSはリチウムイオン電池や鉛蓄電池などを使用し、停電時でも接続されている機器に電力を供給する電源装置。主に交通信号機や通信機器局用非常用電源に使用されているほか、太陽光発電施設にも利用される。

800ワットのDC/DCコンバータを4台並列することで、計3キロワット以上の安定

した出力を確保する。家庭用の大型冷蔵庫2台分の電力を十分に供給できるUPSの小型化と3割程の省電力化を実現している。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を前に、交通信号機の無停電化など災害に強いまちづくりに寄与する事業となりそうだ。

【サン電子工業株式会社】

本社は秩父市下吉田7796-1、深谷工場は深谷市本田3077-1。朝香純男代表取締役社長。1985年、皆野町でスイッチング電源の設計・製造・販売をスタート。業務用ゲーム機器、介護機器の開発などのほか、深谷市公認キャラクター「ぶっかちゃん」とコラボした商品企画・販売も手がけている。2014年には深谷工場が埼玉県「彩の国工場」に指定されている。